

2020年12月〜2021年11月に刊行された日本人作家の小説の中で、書店員自身が自分で読んで、いちばんお勧めしたいと思った作品です。

全国書店員の投票で選ばれたベスト10

- 全国書店員が選んだ
いちばん！
売りたい本
- 2022年本屋大賞
- 大賞
- 『同志少女よ、敵を撃て』
逢坂冬馬（早川書房）
- 2位 『赤と青とエスキース』
青山美智子（PHP研究所）
- 3位 『スモールワールズ』
一穂ミチ（講談社）
- 4位 『正欲』
朝井リヨウ（新潮社）
- 5位 『六人の嘘つきな大学生』
浅倉秋成（KADOKAWA）
- 6位 『夜が明ける』
西加奈子（新潮社）
- 7位 『残月記』
小田雅久仁（双葉社）
- 8位 『硝子の塔の殺人』
知念実希人（実業之日本社）
- 9位 『黒牢城』
米澤穂信（KADOKAWA）
- 10位 『星を掬う』
町田そのこ（中央公論新社）

Supported by

NOLTY®
ノルティ

PAGEM
ペイジエム

手帳ブランドNOLTY / PAGEMは本屋大賞に協賛し、応援しています。